

## 学会彙報，奥付

雑誌名	中国文化：研究と教育：漢文学会会報
巻	40
ページ	99-100
発行年	1982-06-26
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2241/00149371">http://hdl.handle.net/2241/00149371</a>

# 学会彙報

○昭和五十六年度 大塚漢文学会大会 六月二十七日(土)

於 豊島区民センター

## 〔研究発表会〕

一、「論語全解」について

筑波大学院 高橋 明郎氏

一、婦有光と寿序

筑波大学院 鷺野 正明氏

一、台湾時代の章炳麟について

都立大学院 阿川 修三氏

一、阮籍の「為鄭冲勸晋王賤」について

東京高専 大上 正美氏

一、入門期の一指導

都立秋川高校 篠原 有太氏

一、高校漢文教育をめぐる諸問題について

埼玉県立越生高校 杉田 進氏

一、現代中国文学に於ける人道主義・人性論をめぐる

和光大学 佐治 俊彦氏

一、陶詩の序をめぐる

山形大学 沼口 勝氏

一、上古中国語に於ける唇音声母の一特性

山梨県立女子短期大学 望月 真澄氏

## 〔総会〕

一、議長選出

司会 内山 知也氏

二、諸報告

千原 勝美氏

(1) 庶務

高橋 委員

(2) 企画

向島 委員

(3) 編集

伊藤 委員

## 三、議事

(1) 昭和五十五年度決算、昭和五十六年度予算

中村(俊)委員

## (2) 委員選出

加賀 栄治

水沢 利忠

内山 知也

伊藤 虎丸

高橋 均

中村 嘉弘

向島 成美

中村 俊也

大上 正美

佐治 俊彦

安藤 信広

以上の十氏が選出された。

## (3) その他

## 四、委員長挨拶

加賀 委員長

## ○漢文学会委員会

委員長 加賀 栄治

副委員長 水沢 利忠 内山 知也

総務企画 高橋 均 若林 力 向島 成美 樋口 靖

庶務 堀池 信夫

会 計 中村 嘉弘 中山 至 安藤 信広 加藤 敏

会報編集 中村 俊也 高橋 明郎

伊藤 虎丸 松村 英夫 大上 正美 佐治 俊彦

阿川 修三 小村 建男

会計監査 横山伊勢雄 田中 有

## 大塚漢文学会々則

- 一、本会は大塚漢文学会と称する。
- 二、本会は漢文学及び漢文教育の研究と普及とを図ることを目的とする。
- 三、本会の会員は左の通りである。
  - 1、旧東京教育大学漢文学会々員であつて参加を希望する者
  - 2、その他入会を希望する者
- 四、本会の主な事業は左の通りである。
  - 1、総会 年一回
  - 2、例会 年約三回
  - 3、学会誌及び会員名簿の発行
  - 4、その他必要な事項
- 五、本会の役員は左の通りである。
  - 1、委員長 一名
  - 2、委員 若干名
  - 3、編集委員 若干名
- 六、役員の仕事
  - 1、委員長は本会を代表し委員とともに運営にあたる。
  - 2、委員は本会の庶務・会計・企画を担当する。
  - 3、編集委員は学会誌の発行にあたる。
- 七、役員の出及び任期
  - 1、委員長は委員の互選による。
  - 2、委員は会員の互選による。
  - 3、委員は必要に応じて委員を委嘱することができる。
  - 4、編集委員は委員会が委嘱する。
- 八、任期は二年とするただし重任は差し支えない。
- 九、会員は会費年額二千円を納める。

承認を得なければならぬ。  
附則1、本会は昭和五十四年六月二十三日より東京教育大学漢文学会々則に代つて発効する。

2、本会の事務所を当分の間筑波大学文芸言語学系中国文学研究室に置く。以上

編集委員(委嘱)

(哲学・思想) 小林 信明・加賀 栄治・水沢 利忠  
(文学・語学) 鈴木 修次・内山 知也・松本 昭・伊藤 虎丸  
(漢文教育) 鎌田 正・金子 泰三・田部井文雄  
学会委員会

(長) 加賀栄治(副・総務) 横山伊勢雄(文書) 安藤信広・中山至(発送) 向島成美・中村嘉弘・加藤敏(会計) 中村俊也・間嶋潤一・堀池信夫(企画) 高橋均・若林力(会報編集) 内山知也・伊藤虎丸・佐治俊彦・小谷一郎・阿川修三・小松建男

### 漢文学会会報第四十号

大塚漢文学会

昭和五十七年六月二〇日印刷  
昭和五十七年六月二六日発行

編輯者

伊藤 藤虎丸  
内山 知也  
佐治 俊彦

印刷所

東京都千代田区神田神保町三ノ一〇  
株式会社 共立社印刷所  
電 (261) 二〇〇二八

発行所

茨城県新治郡桜村  
筑波大学文芸言語学系内(〒305)  
大塚漢文学会